

2026年2月27日

各位

会社名 株式会社ディー・エヌ・エー
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡村 信悟
(コード番号：2432 東証プライム市場)
問合せ先 取締役兼執行役員 渡辺 圭吾
経営企画本部 本部長
電話番号 03-6758-7200

投資有価証券の売却に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり当社が保有する任天堂株式会社(コード：7974 東証プライム市場)普通株式の一部につき、株式売出しの方法により売却することを決議しましたので、お知らせいたします。

なお、株式売出しの詳細については、任天堂株式会社が本日付で公表している「株式の売出しに関するお知らせ」をご参照下さい。

記

1. 投資有価証券売却の理由

政策保有株式の見直しによる資産効率の向上のため実施するものです。なお、2025年3月期末の保有目的が純投資目的以外の目的である上場株式の保有状況は、以下のとおりです。

	貸借対照表計上額	株式数
任天堂株式会社	88,938 百万円	8,797,000 株

※ 過去の縮減実績は、2021年3月期及び2023年3月期の有価証券報告書をご参照ください。

2. 投資有価証券売却の内容（予定）

任天堂株式会社	普通株式	6,000,000 株
---------	------	-------------

3. 今後の見通し

任天堂株式会社は、同社が本日付で公表している「自己株式取得及び自己株式消却に係る事項の決定に関するお知らせ(会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得及び会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却)」のとおり、2026年3月3日(火)から2026年3月4日(水)までの期間を取得期間として、株式会社東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式(同社普通株式)の取得に関する事項を決議しています。今後、同社が当該決議に基づき自己株式の取得を決定した場合、当社は当該自己株式の取得に応じて、保有する同社普通株式の一部を売却する可能性があり、この場合、株式売出しの方法により当社が売却する株式数が減少することがあります。なお、株式売出しによる当社から引受人への売却価格(引受価額)は、2026年3月9日(月)から2026年3月12日(木)までの間のいずれかの日に決定されます。

株式の売却の業績影響は、連結決算（IFRS）及び個別決算（日本基準）それぞれ以下のとおりであります。その金額等については、売却価格の決定後、速やかに公表してまいります。

（1）連結決算（IFRS）への影響

当該株式の評価に基づく損益は、その他の包括利益に含まれるため、2026年3月期の連結業績における税引前当期利益までの各段階利益への影響はありません。また、以下（2）に記載の売却益に対応する税金費用については、その他の包括利益に認識後、直接利益剰余金に振り替えるため、連結業績における税金費用の認識はいたしません。

（2）個別決算（日本基準）への影響

2026年3月期個別決算においては、投資有価証券売却益を計上する見込みです。また、これに対応する税金費用が生じる見込みです。

当社と任天堂株式会社は、2015年3月17日に、グローバル市場を対象にしたスマートデバイス向けゲームアプリの共同開発・運営及び多様なデバイスに対応した会員制サービスの共同開発に関する業務・資本提携契約を締結しています。こうした業務提携を行うにあたり、各々の事業に対する相乗効果と中長期に渡る関係強化を図るうえで、両社は資本提携を行い、これを通じ、当時の金額において、互いに同額の株式を保有するに至っております。

任天堂株式会社と当社は以降、10年以上の積み重ねを基盤に、例えば、両社の合弁会社であるニンテンドーシステムズ株式会社を設立し、任天堂株式会社のビジネスのデジタル化強化を目的とした研究開発及び運用と付加価値創造を行う等、両社間の関係の強化が進んでおります。

また、当社は、ゲーム事業では、外部有力パートナーとの提携関係に基づくタイトルの開発・運営や、グローバル市場も視野に入れたタイトル展開等に注力しております。

当社は、2022年5月に政策保有株式の見直しによる資産効率の向上のため、当社が当時保有していた任天堂株式会社の普通株式の半数相当を売却しておりますが、以降も両社で継続して協議を重ね、今般、上述の提携当初から変わらぬ資本提携の意義や現状の両社の株価等を踏まえ、上記株数の売却をすることといたしました。

以上

本件に関するお問い合わせ先
株式会社ディー・エヌ・エー(<https://dena.com/jp/ir/>)
IR部 (ir@dena.com)